



新年度が始まり、あっという間に1カ月が経ちました。こども園の中で1番大きいお兄さんお姉さんという意識が芽生え、小さいお友達に優しくしたりお手本になろうとしたりする姿が見られてきました。先日、遠足や散歩等に向けてうさぎ組と一緒に手を繋ぎ歩くなかよしペアで顔合わせをして園庭を歩きました。その際には、うさぎ組と同じ目線になり、「こっちだよ」と声をかけたり「歩いている時は手、離さないんだよ」と優しく教えたりする姿がありました。保育者が「きりん組さん優しいね!」と褒めると「だってきりん組さんだもん」と頼もしい表情を見せていました。また、お昼寝起きの際、自分の布団をすぐに畳み、うさぎ組の布団畳みや布団運びを率先してお手伝いをする様子が見られています!「〇〇ちゃんすごいね!何個目?」と保育者が聞くと「これくらい運べるよ!」という声が聞かれます。ぱんだ組の時には、布団が重くて「出来ない」「やりたくない」と言う声もありましたが、きりん組になり頑張ろうとする姿が多く見られています。これからも子ども達の頑張ろうとする姿を認め、たくさん褒めながら心の成長につながるように関わりたいと思います。また、様々な活動を通してたくさんの事に挑戦し、思い切り楽しんで過ごしていきたいと思っています。



ジェンガの様子



ラキューの様子

ぱんだ組の時から楽しみにしていたきりん組にある玩具に夢中な子どもたち!特に、ラキューやジェンガは大人気で登園してすぐに「(ラキュー)昨日の続きしよう!」「先生一緒にジェンガしよう」等楽しみにしていて朝の支度はあっという間に終わっています。ラキューは、最初、説明書を見ても難しく、すぐに保育者に「先生、作って」と言うことが多かったのですが、保育者と一緒に作ることで少しずつ作り方を覚え、自分で作れるようになったり、友達に教えたりすることで、友達との関わりも多くなりました。時には、場所の取り合いや自分が集めていたラキューが分からなくなり友達といざこざになる時もありますが、保育者が仲立ちをしながら自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを考えたりして、お互いが納得いくように話をしています。まだ、自分の気持ちを優先したい思いが強くなってしまってもありますが、これからもお互いの気持ちに寄り添いつつ、子ども達の成長を見守りながら関わっていきたいと思います。

～席決め～

きりん組になり、グループの名前を初めて、友達同士で相談して考えました。決める前に保育者から友達と自分が考えたグループ名が違ったらどうするかを聞くと「じゃんけんする」「譲ってあげる」等の声が聞かれました。決める時になると、自分と友達の意見が分かれ、中々決まらない場面も多くあったのですが、決める時、どうしたら良いかを思い出し、譲ったりじゃんけんをしたりして決めることができました。自分が決めた名前にならなかった友達も泣いたり怒ったりすることなく、みんなが納得して決めることができました!グループ名が決まり、保育者にグループ名を呼ばれると嬉しそうな子ども達です!決まったグループ名はぜひお子様に聞いてみてください。